



CUSTOM SHOW

SURE SHOT

ため息が出るような美しさ

Phone043-312-0900 www.sureshot.jp

車体を構成するストリートライティング、有機的な曲線を描くパイプワークのパランス。質実剛健なチタニールの作り込み、シックな色合い。シユアショット相川拓也の手による一台は、大人の乗り物とでも言いたくなる美しいマシンである。

可能な限りナローに仕立てるべくフレームはシートレールを作り直し、前後の管長を統制するため360度の輪を描くリアエキゾーストは、オイルタンクをえぐりフレームを曲げてぎりぎりまで内に追い込んでいる。徹底した妥協なき作り込みはビルダー相川の真骨頂ともいえる。

特徴はそれだけではない。リブレイスのソフテイル用リアショックを本使い、リンクを介して作動させるモノサスシステムは、レーサーレブリカやオフ車も好きな走り屋でもある彼のこだわりなのだろう。跨ごて1Gをかけてみると程よく沈み込む。

徹底的にオーバーホールしたエンジンはストックのボアストロークにハイカムをセット。かつてのカワサキの4発などに使われていたミクニの29φVMを2連装するキャブレターは、かつてSUDCOがキットとしてリリースしていたものだという。

今はまた配線を含む細かな仕上げ作業を残しているためエンジンに火は入らないが、レイクツリーで3度起こしたフロントフォークリンク式のモサスが相まって、いかなる走りを見せるのか興味深い。

